

もりどうしん ダム守同心情報連絡票(第35号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. 今年もフラッシュ放流の季節となりました。

灰塚ダムは河川の環境保全を目的とした放流を行う「環境用水放流設備」を備えています。

この設備を使って、川の中にある石の表面を洗い流し、アユが好む新鮮なコケが生える環境をつくりだすことなどの環境保全を目的とした「フラッシュ放流」を年1回程度実施することとしています。

今年は3月25日(水)の朝9時頃から放流を開始し、夕方の17時30分頃にピーク(毎秒約100トン)を迎え、夜の21時30分頃に終了する予定です。

この放流に伴い、上下川の市場付近では普段より1.2mくらい水位が高くなると予想されます。

昨年度は3月18日(火)に最大毎秒100トンのフラッシュ放流を行いました。今回も昨年度と同様、急激に水位が上昇しないように、徐々にダムからの放流量を増やします。当日は放流警報所のサイレンを鳴らしませんが、アナウンスやパトロールなどを行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

※別紙資料「3月25日(水)にフラッシュ放流を行います。」もご覧下さい。

2. 灰塚ダム諸量

本日9時現在のハイヅカ湖への流入水量は毎秒約3.77トン、ダムから下流へ毎秒約3.78トン放流しています。

現在、ダムに貯留している水量は100%となっております。

3. 春植物開花情報

ハイヅカ湖周辺の春植物が開花を始め、春の足音が聞こえてきました。開花されている植物や位置については、別紙「ハイヅカ湖周辺の春植物開花情報」をご覧ください。

ハイヅカ湖の春を探しに来ませんか？

4. 知和ウェットランドにて冬鳥観察会が開催されました

去る2月15日(日)に、三次市吉舎町の灰塚ダム知和ウェットランドにて「第2回冬鳥観察会」が開催されました。当日は好天に恵まれ、約50名もの方が参加されました。まず、ウェットランド団のみなさんの先導のもと、灰塚ダム知和管理棟から知和大橋に向かって野鳥観察に出かけました。ウェットランドの沼沢地で餌をついばんだり羽を休めている冬鳥たちを双眼鏡で観察したり、冬鳥たちの

特徴や声で野鳥の種類を考えたり、いろいろな形で楽しんでおられたように思います。

これから春めいてきますが、春植物の鑑賞に合わせて、是非ウェットランドにもお立ち寄り下さい。

5. 本号の最後に

昨年末に国立社会保障・人口問題研究所から「日本の市町村別将来推計人口(平成20年12月推計)」が公表されました。

全国的に人口減少、少子高齢化が進むとの結果は何度も聞いていることですが、このままいくとあと20年もたたないうちに日本人の5人に1人は75歳以上となり、75歳以上の方が4人に1人以上となる市町村が5割を超えるとの数字には驚きました。

ハイヅカ湖地域はまさに日本の将来を先取りし、ハイヅカ湖地域の課題は将来の日本全体の課題ともなり得ることをあらためて痛感しました。

最近黒澤明監督の映画が衛星放送で放映されていたので録画して楽しんでいます。「7人の侍」などにも村の長老が出てきますが、昔長老としてたよりにされていたように人生経験豊かな人が沢山いると考えると頼もしくも感じます。

元気に活動して相談もされる108歳を目指して、精進したいと思います。

子供の頃に読んだ気になっていた「学問のすすめ」

青空文庫で入手して読んでみましたが、悪戦苦闘しました。

大変参考になりましたが、読みにくさこの上なく感じました。

知っているつもりでも、知らないことがまだまだ沢山ありそうです。

ハイヅカ湖地域もウェットランドなどが多くの冬鳥で賑わう季節から、空には仲良く飛ぶつがいの鳥が見られるようになり、野には花咲く季節へと移り変わってきました。

ハイヅカ湖の自然のように、元氣・勇氣・やる氣・根氣で灰塚ダム管理支所一同、笑顔の花満開を目指して楽しく頑張ります。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

管理支所長 今岡 俊和 (imaoka-t87mb@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行 (katayama-n87hd@cgr.mlit.go.jp)

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544